

別紙様式 1

令和5年度 共通実践事項

鹿屋市立細山田小学校

学校教育目標	めざす子ども像 【重点課題】	共通実践事項			評価(学期) 1 2 3	
		学校	家庭			
大きな理想をもち、知徳をみがき、郷土細山田をおこす子どもの育成	知 【かしこい子】 基礎・基本を確実に身に付け、よく考えて自ら課題を解決しようとする子ども	学校 1	児童の主体的な学びを促進し、「振り返り」を充実した一単位時間の授業を展開する。			
			2	評価問題では単元テスト正答率8割以上、各種調査では全国・県平均以上とする。		
		家庭 1	家庭学習（低：30分+α，中：40分+α，高：60分+α）を習慣化させ、見届け（チェック）を行う。			
			2	細山田のことをよく知り、将来の夢や目標について親子で話し合う機会を設ける。		
	徳 【明るい子】 豊かな感性を持ち、明るく思いやりがあり、人の立場や痛みに共感できる子ども	学校 1	「語先後礼」による元気なあいさつを全児童にさせる。			
			2	いじめの早期発見・早期解決を行い、不登校0を継続する。		
		家庭 1	「親と子の20分間読書の日」を設け、本や新聞等の読み物に親しませる。			
			2	体験活動や青少年育成活動（子ども会、スポーツ少、寺子屋等）に取り組ませる。		
	体 【たくましい子】 心身共に健康で、汗を流すことには喜びを感じ、何事にも粘り強く努力する子ども	学校 1	体力運動能力調査で全国平均以上とし、一校一運動「ランニング」に継続して取り組ませる。			
			2	フッ化物洗口等を通した歯の健康づくりの指導により、う歯治療率を90%以上にする。		
		家庭 1	休みの日に外遊びやスポーツをする時間を1時間以上設け、運動に親しませる。			
			2	家庭内ルール（ゲーム機使用等）を設定し、夜9時になったら電源をOFFにさせる。		

上：達成度 下：努力度